

東海道新幹線車両のアルミをリサイクルした建材が新規物件に初採用

2024 年 12 月 13 日

(一社) 日本アルミニウム協会

東海旅客鉄道株式会社（以下「JR 東海」）、三協立山株式会社（以下「三協立山」）、ジェイアール東海商事株式会社は、東海道新幹線車両のアルミをリサイクルした建材「Re♻️ALumi T」の共同開発し、三井不動産レジデンシャル株式会社（以下「三井不動産レジデンシャル」）の新築物件のサッシフレームとして初採用された事を発表しました。

東海道新幹線車両のアルミリサイクルでは、これまでに「新幹線から新幹線へ（※1）」「車体から車体へ（※2）」といった事例がありますが、「車両から建材へ」「展伸材から展伸材へ」のリサイクルとなる新たな事例となります。

こうした取り組みは、新地金を使用する一般的なアルミ材と比べ、製造時の CO2 排出量を大幅に削減でき、マテリアルリサイクルを通じたカーボンニュートラルの実現への寄与が期待され、アルミ展伸材へのスクラップ使用率の向上に寄与するものです。

※日本アルミニウム協会では、アルミニウム VISION 2050 において、2030 年までにアルミニウム展伸材におけるスクラップ使用率を 30%、2050 年までに 50%を目指す目標を掲げております。

今回発表されたのは材質が A6063 の「Re♻️ALumi T50」と材質が A6005C の「Re♻️ALumi T100」。それぞれ東海道新幹線再生アルミを 50%、100%使用しておりそれぞれ製造時の CO2 排出量を 4 割および 8 割削減が可能。

低 炭 素 ア ル ミ 建 材

Re♻️ALumi T

For Circular Economy with SankyoALumi

東 海 道 新 幹 線 再 生 ア ル ミ 仕 様



(仮称) 文京区向丘 1 丁目計画



コードヤード ・ パイ ・
マリオット 京都駅

出典 JR 東海 三協立山 三井不動産レジデンシャル

※1 https://www.aluminum.or.jp/sys_img/files/1591338361_0.pdf

※2 https://www.aluminum.or.jp/sys_img/files/1653865021_0.pdf